

SHIMANE JOBGirl^{season 2}

はじめに

この度は『JOBGirl』を手にとっていただき、ありがとうございます。

あなたは“島根県で働くこと”にどんなイメージを持っていますか？

『JOBGirl』は「島根県内の企業の魅力と、イキイキと自分らしく働く女性の魅力のどちらも発信したい」と少し欲張りな思いからスタートした企画です。

リポートするのは県内の女子学生。未来の自分を想像しながら、女子学生目線で各企業の女性社員を取材しました。

多様な働き方・生き方に触れ、「島根県で働きたい!」と思ってもらえると嬉しいです。

JOBGirlとは

- ・イキイキと自分らしく働き、ONとOFFを素敵に楽しみ、企業の魅力を発信する島根県内の企業の女性社員
- ・島根県内の輝く女性社員を取材し、企業の魅力を発見していく女子学生*リポーター

*島根大学、島根県立大学、松江工業高等専門学校

インタビューについて

リポーターチームは13人の女子学生。A~Dの4つのグループに分かれ、合計15社の企業を訪問。ロールモデルとなる社員を取材し、独自の目線でリポートします。

企業リポート一覧

もくじ

- グループ A
- 01 株式会社アルプロン島根工場 p.4
 - 02 社会医療法人仁寿会 p.6
 - 03 株式会社中筋組 p.8
 - 04 有限会社松の湯(出雲・玉造温泉松乃湯) p.10



- 05 シマネ益田電子株式会社 p.12
- 06 社会福祉法人桑友 p.14
- 07 株式会社豊洋 p.16
- 08 株式会社ペンタスネット p.18

- 09 株式会社協栄ファスナー工業 p.20
- 10 JR西日本山陰開発株式会社 p.22
- 11 ティーエスケイ情報システム株式会社 p.24



- 12 イマックス株式会社 p.26
- 13 株式会社キグチテクニクス p.28
- 14 東京海上日動火災保険株式会社山陰支店 p.30
- 15 フジキコーポレーション株式会社 p.32

Interviewee 01

インタビューを受ける人



リポートする人
Reporter

林幸奈

糸川菜友子

高崎友穂奈

田邊瑞菜

高品質のプロテインを全国へ発信!
生産工程の基盤となる管理部門のスタッフを取材

株式会社アルプロン 島根工場

細木 真美さん

出荷管理や協力工場生産管理など生産管理を担当。また5S推進委員会リーダーを務める。

1 安心安全なプロテインを

プロダクト部は女性社員が多く働くセクションで、品質管理や生産管理を担当しています。中でも品質管理は主に、作業ミス対策や包材のクレームの対応を行っています。クレームの対応の中でも特に大変なのは包材の破れについてです。プロテインはアルプロン島根工場だけではなく協力工場でも作られています。破れていたのは島根工場で作られた商品なのか協力工場の商品なのかの調査を行います。担当している皆さんは、「再発しないために島根工場内ではもちろん、協力工場にも情報共有を行い対応しています」と話していました。



2 初めてでも安心して働ける職場

生産管理を担当している細木さん。出産後の社会復帰の際に市役所の職員に紹介され、アルプロン島根工場に就職しました。最初は生産管理や在庫管理についてなど分からないことも多かったそうです。しかし、月2回行われる外部講師による講習など勉強の機会が多く役に立ったと話していました。また、島根工場では有給取得率7割以上を目標に掲げていて、有給休暇が取りやすい環境で子育てと両立しやすいとのことでした。

3 スキルアップができる職場

県内大手電子部品メーカーのOBによる月2回の講習をはじめ、ビジネスマナー講習や週に一度のプレゼン発表会など、島根工場では社員が学ぶ機会を設けています。プレゼン発表会では、プロテインや工場に関係することだけでなく、発表者の気になることや好きなことを題材にしてチームで取り組んでいるそうです。細木さんは、「人に伝える練習にもなり、日々勉強になります」と話していました。ゼロからでもしっかり学ぶことができ、スキルアップしやすい環境が整っています。

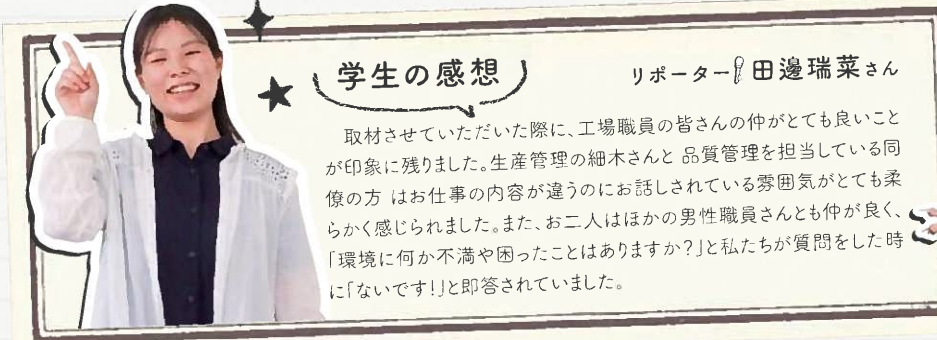


インタビュー動画はこちら

★ 学生の感想

リポーター 田邊瑞菜さん

取材させていただいた際に、工場職員の皆さんの仲がとても良いことが印象に残りました。生産管理の細木さんと品質管理を担当している同僚の方はお仕事の内容が違うのにお話されている雰囲気がとても柔らかく感じられました。また、お二人はほかの男性職員さんとも仲が良く、「環境に何か不満や困ったことはありますか?」と私たちが質問をした時に「ないです!」と即答されていました。



アピールポイント



株式会社アルプロン 島根工場

〒699-1104 島根県雲南市加茂町南加茂1204-1
TEL 0854-49-8286
<http://alpron.co.jp/>

(株)アルプロン島根工場は、38名の社員のうち15名の女性が活躍しています。健康食品の製造・販売を行っている会社として、従業員自身が健康であることが大切と考え、時短や有休取得率のUPに取り組みワークライフバランスを意識した働き方を実現出来る会社です。従業員の研修にも積極的に取り組み、未経験の方でも働きやすくやがいのある職場環境になっています。

Interviewee 02

インタビューを受ける人

田邊瑞菜



高崎友理奈



レポートする人

Reporter

系川葉友子



林李奈



医療の最前線で患者さんや
家族に寄り添い、支える看護師を取材



社会医療法人仁寿会
藤田 麻衣子さん

体調管理や服薬管理などの入居者様や
患者様の在宅での生活支援を担当。

3 成長を実感できる職場

藤田さんは幼い時、母親が自宅で祖母の介護をする姿をみて、「自分も何かできないか」と思い、福祉・医療の道へ。介護福祉士と准看護師の資格取得後、職場の資格支援制度を利用して、取り扱える医療行為の範囲が広い看護師の資格を、仕事と子育てとを両立させながら取得しました。看護師としてステップアップしたことで、視野がさらに広がったそうです。「自分の成長を止めない」と話す藤田さんの顔はとても輝いていました。



インタビュー
動画はこちら


1 子育て女性が働きやすい社会医療法人

2人のお子さんがいる藤田さん。仁寿会では、子どもの行事や急な用事の際も他の職員さんとの勤務調整により、休暇が取得しやすい環境を整えています。また一緒に働いている同僚や先輩は女性が多く、育児で悩んだ時の相談も気軽にできるそうです。藤田さんは、職場の同僚や先輩から育児や地域行事などのアドバイスをもらいながら、仕事と子育てに奮闘しています。



2 コロナ禍での医療現場は

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、入居者様とご家族との対面が難しくなっています。オンライン面会も実施していますが、お互いに触れて話すことで感じる幸せを得られない状況は、藤田さんたち看護師の目から見ても、とても悲しいと感じるそうです。医療従事者として大変な事は多いですが、「手洗いやうがい、必要な感染対策を徹底して行い、早く治まってくれることを今一番望んでいます」という藤田さんの言葉が印象に残りました。



* 学生の感想 *

リポーター 林李奈さん

コロナ禍の中で、実際の医療現場にお邪魔することはできなかったのですが、藤田さんと他の職員の方々がロールプレイングで訪問看護の現場を再現してくださり、とてもよかったです。仁寿会は地域の人に寄り添い、その人らしい生活ができるよう支援する社会医療法人である事を実感しました。そして、看護師さんが患者さんを一番に思って仕事をしていることが取材の中で分かりました。

アピールポイント

好きな仕事を見つけることで毎日が楽しく、家庭も両立できています。患者さまやご家族からの言葉で、仕事のやりがいや自信にも繋がります。私もたくさんの幸せを感じることができました。私達の職場は、毎日お互いに助け合って楽しく、明るく業務を行っています。これからも先輩方に指導していただきながら、もっともっと働きやすい職場にしたいです。

社会医療法人仁寿会
※外観写真は、今回取材した「サービス付高齢者向け住宅
アーシング&リハビリテラス【和から逢う家】」になっています。
〒696-0001 鳥根県邑智郡川本町大字川本383-1
TEL.0855-72-0640(代表)
http://k-jinju.or.jp/

6

7

Interviewee 03

インタビューを受ける人

高崎友理奈

林 幸奈



リポートする人
Reporter

田邊 瑞菜

系川 菜友子



株式会社中筋組

榎本 加奈子さん

本社で土木現場の電子納品データの作成
や現場設計図の3Dデータの作成を行う。

土木・建設の世界でプロフェッショナルに...

女性活躍の道を拓く技術者を取材

3 女性が働きやすい建設業へ

あまり女性が働いているイメージのない建設業ですが、中筋組では女性が働きやすいと感じられるような取り組みが進んでいます。例えば、女性不在職への積極的な採用、女性活躍のホームページ作り、女性管理職登用のためのキャリアアップ研修会などが実施されています。榎本さんは土木部で現場管理をして働いていましたが、妊娠を機に内勤業務に移りました。妊娠している女性への配慮も柔軟に行い、個々のワークライフバランスを尊重する会社です。



インタビュー
動画はこちら

1 かわいい女性技術者を目指して

中筋組に勤めて5年目となる榎本さんは、現在妊娠8か月。資格取得の勉強に励みながら内勤業務をしています。榎本さんは別の会社で事務職に就いていましたが、専門職で働く女性がかっこいいと感じて転職を決意し、同社の土木部に採用されたそうです。入社したきっかけは学生時代に中筋組のインターンシップに参加したこと。その際、雰囲気がよく、土木部に女性がいないのを見て、「自分がここで仕事をするぞ!」というやる気生まれたそうです。



2 建設業のイメージを変える取り組み

建設業を表す言葉として、昔は3K(きつい、汚い、危険)というものがありました。特に現場では朝が早く、夜は遅い時間まで仕事をしていて休みがないという場面が実際にもあります。この状況を変えるために中筋組はノー残業デーの実施や週休二日制度を積極的に取り入れ、社員の体に負担を掛けないように労働環境の整備を行っています。建設業の新しい3K(給与、休暇、希望)のイメージが生み出せるように働き方改革を進めています。



学生の感想

リポーター 系川菜友子さん

私は現在、土木系の現場仕事に興味を持っているのでとても良い経験になりました。中筋組はICT技術を活用した施工管理を積極的に行っているのも、女性でも現場で働きやすくなっていると感じました。建設業は女性技術者への配慮や、ICT技術の導入、イメージの払拭を行い変化しているので、私も置いていかれないよう、勉学に励みたいと思いました。



アピールポイント

株式会社中筋組は、女性社員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。働き方改革の推進や最新技術を採用することで、従来の3K(きつい、汚い、危険)のイメージから新3K(給与、休暇、希望)へと我が社も変わってきました。女性が働きやすい環境は男性にとっても働きやすさにも繋がるので、誰もが輝ける建設業を目指しています。



株式会社中筋組

〒693-0061 島根県出雲市姫原町262
TEL.0853-22-8111
<https://www.nakasuji.co.jp>

Interviewee 04

インタビューを受ける人

糸川 茉友子

田邊 瑞菜

レポートする人

Reporter

林 李奈

高崎 友理奈



有限会社松の湯
(出雲・玉造温泉松乃湯)

堂ノ上 愛菜さん

ソフト作成、人材育成、などフロント統括業務担当。サービス向上委員会委員長も務める。

松江ならではの質の高いおもてなしを追求
老舗温泉旅館のアシスタントマネージャーを取材

3 後輩の成長が一番のやりがい

入社6年目の堂ノ上さんは、アシスタントマネージャーとして若手社員の人材育成にも取り組んでいます。教え方がこれで合っているのかわかり悩んだり、苦労したりすることもあります。しかし、自分が指導した後輩が成長したり、褒められたりしている姿を見ると、自分のことのように嬉しくやりがいを感じると話します。松乃湯が求めるのは、常に挑戦し続け、自分の考えを提案し現状を改善していける人。そのような人材を育てることが、堂ノ上さんの目標です。



Good!!



インタビュー動画はこちら

1 松乃湯の雰囲気惹かれて

堂ノ上さんは元々宿泊業に興味があり、インターンシップで松乃湯を訪れた際、柔らかい雰囲気に迎えられているような居心地の良さを感じました。「ここなら自分が自然体でいられ、成長できそう」と直感し、入社を決めたそうです。実際働いてみると、社員同士の仲がとても良く、つつい話に花を咲かせてしまうことも。女性が多い職場だからこそ、困っていることがあれば気軽に相談できます。生理など女性特有の悩みへの理解も深く、女性が安心して働くことのできる環境が整っています。



2 松江らしいおもてなしの実現

創業130年を超える温泉旅館「松乃湯」が目指すのは、伝統にとられず時代に合ったサービスを提供すること。毎月「サービス向上委員会」を実施し、お客様の意見をもとにより良いサービスを考えています。営業部・おもてなし部・宿泊部・調理部・管理部の5つの部署の従業員で構成されているため、いろいろな角度からの意見を反映できます。訪れたお客様に「松江らしさ」を感じてもらえるよう、従来のやり方にとられず日々新しいことに挑戦し続けています。



学生の感想

リポーター 高崎 友理奈さん

サービス向上委員会の様子を見学、参加しました。現在、コロナ禍という制限がある中で、お客様にベストなおもてなしを提供することは決して容易ではありません。しかし、訪れたお客様に「松江らしさ」を感じてもらいたいという従業員の皆さんの想いがおもてなしの実現に繋がっているのだと感じました。

アピールポイント



有限会社松の湯(出雲・玉造温泉松乃湯)

〒699-0201 島根県松江市玉造町玉造1215
TEL 0852-62-0611
<https://matsunoyu.jp>

松乃湯の武器は「スタッフ力」。20歳代がメンバー中心のサービス向上委員会のように若手社員が提案する機会が多く、失敗を恐れず挑戦する社風の中で一人ひとりが成長します。松乃湯の行動目標にある「進歩的であれ!」。いつも「お客様のために何が出来るか」を考える社員の行動力が、歴史を重ねる旅館の次代の「おもてなし」を築く原動力です。

Interviewee 05

インタビューを受ける人



シマネ益田電子株式会社
大崎 さくらさん

完成した半導体製品の外観検査を担当。
また総務課と協力して高校卒業生の採用活動もしている。

リポートする人
Reporter

川崎悠花



村田明日香



渡部小葉



電子部品の開発・製造の現場で欠かせない
検査部門の女性検査員を取材!

1 自分に合った豊かな生活を

高校卒業後、そのまま地元益田で就職した大崎さん。地元で働くメリットについて、物価が安く金銭的余裕が生まれることを挙げていました。大崎さんはゲームなどが趣味のインドア派なのだそうです。貯金できるおかげで好きなことを無理なく続けられるそうです。また同社では、事前に休暇を設定できる「計画年休」や、時間単位で取得できる「時間年次有給休暇」などの制度があり、リフレッシュの時間も十分に取ることができるため、自分に合った豊かな生活を送れているそうです。



2 大崎さんにしかできない仕事

大崎さんは外観検査を担当。取材時に体験させていただいたのですがとても難しく、大崎さんの作業スピードに驚きました。部品はとても小さく、大崎さんも初めは酔ったり、どこまでチェックしたか分からなくなったりしたそうです。社内の認定を10以上取得した今では、大崎さんにしかできない検査もあり、やりがいがあるそうです。現在は他部署と連携し採用活動も。高校や企業説明会で、働きやすさや地元で働くメリットなどを伝えています。今年出身高校から内定者が1名出たそうです。



3 希望業務でなくても輝ける!

大崎さんの担当業務は外観検査ですが、高校で食品製造について学んだため、入社当初は機械などの設備を扱う業務を希望していたそうです。配属された外観検査は、設備業務とは全く異なり、その難しさに不安を感じていたようですが、仕事ぶりを上司から褒められ、重要な業務も任されるようになるなど、この業務ならではのやりがいを感じるようになったといいます。今では入社当時から夢であった設備のメンテナンスの資格を取得するなど、新たなことに挑戦しているそうです。



インタビュー
動画はこちら

* 学生の感想 *

リポーター 村田明日香さん

今回の取材で、改めて地元で就職することの魅力に気づくことができました。私は、希望の職種の関係上、以前から都会での就職を希望していました。しかし、取材した大崎さんは、地元に残る選択をすることで自分のやりたいことを無理せず続けていました。背伸びしすぎない生き方はまさにこのことだと感じました。自分の考え方を考える良いきっかけとなりました。



シマネ益田電子株式会社

〒698-2144 島根県益田市虫追町0320-97
TEL 0856-28-8100
<https://sme-ltd.com>

アピールポイント

シマネ益田電子では、「社内資格制度」があり、資格を取得する事で一人前の仕事ができる様になります。多くの資格を取得する事で仕事へのモチベーションも上がり、給料へ反映される資格もあります。また出張など知らない世界を知る機会もあります。女性社員にとっても働きやすい制度がある職場環境の良いアットホームな会社です!

Interviewee 06

インタビューを受ける人



社会福祉法人桑友
堀川 侑里さん

障害のある方が企業に就職するためのサポートから働き続けるためのサポートまでを行っている。

Reporter

レポートする人

村田 明日香



渡部 小菜



川崎 悠花



働く障がい者を二人三脚でサポート！
就労支援施設のスタッフを取材



1 障がいのある人の希望に寄り添いたい

友人の「優しいね」という言葉から自然と福祉の仕事を意識していた堀川さん。大学では、障がいのある人が学ぶ機会を作るプロジェクトに取り組んでいました。そういった中で、「自分も障がいのある人の希望に寄り添いたい」という目標が生まれたそうです。堀川さんは現在、利用者への作業指導や面談といった、就職前と就職後のサポートに携わっています。利用者と二人三脚で歩いていくこの仕事で、企業から採用通知や利用者の仕事への姿勢に対して良い報告が届く時が一番嬉しい瞬間だそうです。

2 就職が決まるのがゴールではない

就労支援をする上で堀川さんは、利用者ご本人が納得して活動を進められるよう、あくまでも「提案」という形を心がけているそうです。堀川さんが「良い」と思ったことが、ご本人にとっても「良い」とは限らないからです。また、「就職はゴールではない」と繰り返し話されたのが印象的でした。同法人では就職後も企業訪問や面談を通して利用者が働きやすい環境を整えています。今回のお話では「就職して何年も経った利用者にも定期面談を行うことがある」と聞き、驚きました。

3 就職前後の支援で自信に繋げる


利用者のこれまでの経験や、今後の希望に合わせた就職前の訓練が、同法人の行う就労支援の特徴の1つ。データ入力や封入作業など事務作業を中心とした業務の訓練や、応募書類の書き方、面接の受け方や等を学ぶプログラムを実施しています。さらに就職後の不安や不満を解決するための面談や企業訪問を行い、利用者も企業も安定して雇用関係が継続できるよう就労をサポートします。これら就職前後の支援で利用者の「働ける続ける」という自信に繋げることが、同社の強みであると言えます。



★



インタビュー動画はこちら




学生の感想

リポーター 渡部 小菜さん

堀川さんのお話を聞く中で、どんな些細なことででも利用者さんの立場になって考えていることに気がきました。障がいを持つ人が働きやすい環境を整えるために、就職活動以前の職業訓練や就職後のアフターフォローにも力を入れていて、まさに「二人三脚」とはこのことだと感じました。利用者さんのメンタル面のフォローも大切にし、信頼関係が構築されていました。





アピールポイント

桑友では、良い仕事をするために、風通しの良い職場づくりを心がけています。わたしたちの仕事は、人と関わる仕事なので、チームワークが大切です！気軽に相談をしやすい、安心して働ける環境をみんなで作っています。

社会福祉法人桑友
※外観写真は、今回取材した「オフィスまるべりー」になって
います。
〒690-0064 島根県松江市天神町93
TEL.0852-60-1858
<http://www.soyu.or.jp/>

Interviewee 07

インタビューを受ける人



株式会社豊洋

森脇 睦さん

工事の相談・依頼を受け、現地調査・見積りや資料作成・工事の段取り、施工中の現場管理まで行う。

リポートする人

Reporter

渡部小葉



川崎悠花



村田明日香



先入観を取り払い建設業の世界へ
施工管理の部門で活躍する社員を取材!

1 新たな発見・出会いを大切に

就活前までは、漠然と営業職をイメージしていた森脇さん。建設業界は考えておらず、現在の業務内容である「施工管理」の仕事も知らなかったそうです。転機が訪れたのは、就活中に参加した合同企業説明会。様々な企業の話の間で、同社の説明ではキャリア形成が具体的に想像できたそうです。元々デザインやインテリアに興味があり、その延長ということでこの業界へ就職を決めました。自身を振り返りながら「業界や業種を決めつけすぎず、いろいろと話を聞くことが大事」と教えてくれました。



2 働くことを楽しめる職場


森脇さんは打ち合わせの際、「自分の提案」と「お客様の理想」が異なることがあるので、コミュニケーションを通してお客様のニーズを引き出しているそうです。お客様が「現在不便に感じていること」と「どうしたらそれを解決できるか」を整理し、お客様の暮らしがより良くなる策を提案しています。また実際の工事の際には、リフォーム場所以外が汚れないよう、養生などに気を遣っているそうです。お仕事の話をした森脇さんの表情は輝いていて、心から楽しんでいるように感じられました。

3 ステップアップを目指したきっかけは先輩の支援

森脇さんの大学での専攻は建築学ではなく経済学。合同企業説明会で、女性社員の活躍を感じ入社を決めました。しかし、業務内容は知らないことばかりで、入社後すぐは困難も多かったのですが、先輩からアドバイスを受けるうちに仕事を楽しめるようになったと話してくれました。また施工の最後まで担当する業務であるため、お客様からの感謝の言葉も仕事を楽しく続けられる理由の一つだそうです。今は建築施工管理技士2級取得を目指し、さらなるステップアップに挑戦しています。



インタビュー動画はこちら



★ 学生の感想

リポーター 川崎悠花さん

今回の取材の中で一番驚いたことは、経済学部出身であった森脇さんが業界を一つに絞らずに広く考えて就活を行い、建築関係の会社に就職したということです。「業界を絞らずに就活することが大切」という言葉が心に刺さりました。また「辛いことも先輩のフォローのおかげで乗り越えられた」というお話から、先輩の存在は大切ということを感じました。

株式会社豊洋

〒690-0823 島根県松江市西川津町2108-3
TEL 0852-28-1111(代表)
<https://www.hoyo-ltd.jp/>

アピールポイント

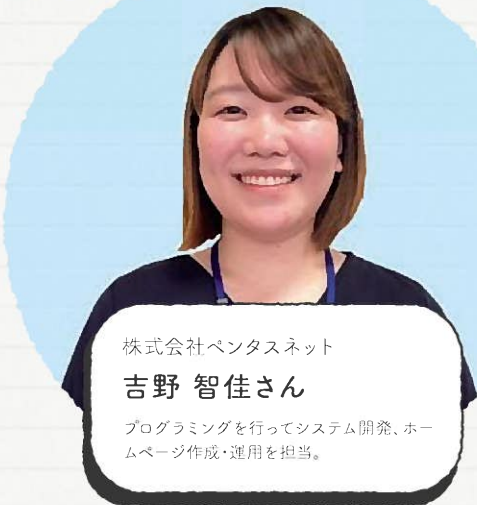
豊洋は住宅商品として、購入を検討されるお客様のニーズに合わせた4つのブランドを販売しています。理想の住宅、価格、子育て、ゼロエネルギーなど、お客様の理想をカタチにするため土地のことから建てた後のメンテナンスまで、トータルにサポートしています。

16

17

Interviewee 08

インタビューを受ける人



株式会社ペンタスネット

吉野 智佳さん

プログラミングを行ってシステム開発、ホームページ作成・運用を担当。

Reporter

リポートする人

川崎悠花

村田明日香

渡部小葉

専門スキルを磨いて女性も活躍中のIT業界!
先輩の背中を目指し奮闘するエンジニアを取材

3 すべての社員がいきいきと働ける職場

同社では、PTAや自治体など、社会活動に対して手当が出る「もう一役運動」や、入社後5年ごとに取得できる「リフレッシュ休暇」など、独自のユニークな福利厚生制度が設けられています。また、「フレックス勤務」を導入しており、勤務時間を自由に調整できます。さらに、育児休暇の推奨や産後休暇後の復職支援など、女性が働きやすい環境でもあります。自身にあったワークライフバランスで、無理なく働くことができるそうです。



インタビュー動画はこちら

1 Uターン就職を選んだ理由

吉野さんは東京の短大を卒業後にUターン就職。東京ではなく島根の企業を就職先に選んだ理由について「短大で出会った人たちに『島根県ってどんなところ?』と聞かれ、答えていくうちに地元の良さを再発見し、島根で働きたいと思うようになりました」と話していました。ペンタスネットを選んだのは「Uターンイベントに参加し、島根だけでなく東京にもオフィスがあること、女性社員の割合が多いことを知ったからです」と教えてくれました。一度離れた人こそ分かる“島根の良さ”があるようです。



2 先輩女性に心動かされ、背中を追いかける日々

どうしても男性が就く職業というイメージが強いIT企業。吉野さんもやはり女性が少ないのではないかと不安だったそうです。しかし同社は女性社員の割合も多く、吉野さんは、当時リーダーとして活躍されている女性社員の存在に心が動かされたことがきっかけで入社を決めました。入社から数年たった現在では、入社きっかけとなった先輩に感化され「なにか一つでも強みを持つ社員になりたい」と話していました。



学生の感想

リポーター 村田明日香さん

取材前は、IT企業で文系の人や女性が活躍されているか気になっていました。しかし実際取材をして、杞憂だったと気づきました。社内研修で専門的な技術を身につけることができ、様々な福利厚生制度の充実によって女性も安心して働ける環境が整っていました。また、同社で働く吉野さんは自分にとっての最善を常に模索していて、とても輝いている女性でした。



アピールポイント

ペンタスネットの魅力は、様々な制度が充実していることです。資格取得のために受験費用を補助してもらえる制度や、会社をよりよくしていくために社員自ら提案をすることができる制度など、社員のやる気をサポートしてくれる制度がたくさんあります。事情に合わせて勤務時間の調整ができるなど、ワークライフバランスを大切にしながら、社員が生き生きと仕事できる環境が整っています。

株式会社ペンタスネット

〒690-0816 島根県松江市北陵町43
TEL 0852-20-7200
<https://www.pentas-net.co.jp/>

Interviewee 09

インタビューを受ける人



株式会社協栄ファスナー工業

飯塚 詩乃さん

社内備品管理、帳簿管理、請求書の発行、また社会保険に関連する手続きや、勤怠管理、給与計算など幅広く担当。

リポートする人

Reporter

川口彩織

江口美月

田口絢葉

女性の先輩社員をロールモデルに邁進！
会社の事業を支える事務スタッフを取材

1 自分の成長がやりがいに繋がる！

飯塚さんの仕事は、給料の振り込みや荷物の受け取り、Excelを使った書類の作成など、事務的な業務がほとんどです。繰り返しの仕事ではありますが、毎日コツコツと仕事をしているうちに、自分の事務的なスキルの向上を感じる場面があると言います。例えば電話対応の時には、この人から電話がかかってきたからこの人に繋がればいい、などと分かってくるようになったそうです。飯塚さんは、「自分よりもっと事務に向いている人はいるかもしれないけれど、向いている人になれるように頑張りたい」と話していました。



2 女性社員の活躍を身近で感じることができる！

車で45分かけて通勤している飯塚さん。それほど時間がかかっても同社に勤めている理由の1つに、理想の上司の存在があります。同社では、ここ5年で2名の女性が管理職となり、バリバリ働いています。そんな先輩たちの姿を見ているうちに、キャリアプランの目標として、いずれ自分もそうなりたいと思うようになったそうです。ただ、「現在の職場には先輩社員の方が多く、同年代の女性が少ないため、寂しいと感じることもある」と話していました。

3 生活が侵食されない働き方…プライベートとのメリハリを大切にする会社

同社では、仕事と生活の調和を図るため、平成29年から有給休暇を時間単位で取得できる制度を導入しました。飯塚さんは、仕事の帰りに病院に行くために2時間だけ有給を使って早く帰る、という使い方をしているそうです。「誰かが休んでも、お互いの仕事をカバーし合うことができるため、有給は取りやすく感じる」と話していました。また、急な仕事がある時以外は、大雪が降った時など当日の連絡でも有給を使うことができる上、お盆やお正月などは休むことができ、夜間のトラック運転手以外は残業がありません。



Good!



インタビュー動画はこちら

学生の感想

リポーター 江口美月さん

今回のインタビューを通して、しっかりと自分の将来を見据えている飯塚さんの姿にとっても感動しました。まだ将来の自分が思い描けていない私にとっては、そんな飯塚さんがキラキラして見えました。好きな本の話や通勤中聞いている音楽の話など、少し踏み込んだところまで聞いても笑顔で答えてくださり、お話ししていて楽しかったです。ありがとうございました。

アピールポイント

協栄ファスナー工業では「ホースクランプメーカーとして、『ものづくり』を通じ人を育み社会に貢献する」という経営理念のもとに、現在社員36名(うち女性15名)が活躍しています。男女共に働きやすく、自分の能力を発揮できる会社を目指して社員全体の技術・能力の向上と、女性管理職の育成に力を入れています。

株式会社協栄ファスナー工業
〒690-2701 島根県雲南市掛合町掛合2414
TEL.0854-62-9700
https://kyoei-fi.co.jp/

Interviewee 10

インタビューを受ける人



JR西日本山陰開発株式会社

嘉藤 真琴さん

採用に係る業務全般、社外向け広報業務、また研修計画の策定から内容の決定、研修の実施までの教育業務も担当。

Reporter

リポートする人

江口美月

田口絢葉

川口彩織

山陰の「いいね」を駅から発信!
企画・広報・人事など幅広く活躍する社員を取材

3 ライフスタイルに合わせて働ける

同社は、働いている人の半数以上が女性であり、「育児時短勤務」や「半日単位の年次有給休暇」などの制度の利用に関して社員同士の理解があることが特徴です。3歳の子どもがいる嘉藤さんは、子どもの受診などで制度を利用していると話していました。子育てなど女性ならではの目線を通してお互いを理解し合い、社員同士が互いに支え合いながら働いています。



インタビュー動画はこちら

1 地域活性化に貢献するために

生まれも育ちも山陰地方の嘉藤さんは、都会に憧れを持っていました。そんな時、近隣の駅に有名なカフェが開店し賑わっている様子を見て、駅が地域に与える影響力を目の当たりにし、「山陰の魅力をつくり出したい」と思い入社を決めました。働く中で、伝統的な食文化・地産品などの島根ならではの魅力を発信したいと気持ちが変化したそうです。「山陰っていいな」と感じるようになったと話していました。



2 山陰の魅力を伝える商品開発

嘉藤さんは、山陰地方にある4つの酒蔵の日本酒の飲み比べを楽しめる商品の開発に携わりました。異なる酒蔵のお酒をセットにするため、組み合わせ方が難しかったそうです。様々な酒蔵のお酒を嘉藤さんからスタッフが試飲して、何度も協議して厳選したことで、それぞれの良さを存分に楽しめる商品になったそうです。「実際にお客様が手に取ってくれて満足している様子を見るとやりがいを感じる」と話していました。

学生の感想

リポーター 田口絢葉さん

今回「しまね JOB Girl」に参加して、島根県で働く3人の女性に出会いました。お話を聞く中で、「働くことに対する考えを深めることができ、将来に対して「こんな風に働きたいな」といった希望を持つことができました。私も、今回取材させて頂いた方々のように活き活きと働くことができるように大学での勉強や経験を大切にしようと思いました。



アピールポイント

山陰エリアにおいて、JR松江駅・鳥取駅の高架下SC「シャミネ」を運営するほか、主要駅構内におけるコンビニ、お土産店、輸入雑貨店等の運営・店舗開発など幅広い事業を展開し、地域内外のお客様に喜んでいただけることを通じて、地域活性化に貢献しています。



JR西日本山陰開発株式会社

〒690-0003 島根県松江市朝日町宇勢宮472-2
TEL 0852-26-6511(代表)
<https://www.wjrsd.co.jp/>

Interviewee 11

インタビューを受ける人



ティーエスケイ情報システム株式会社

吉岡 茜さん

自治体や民間企業の方が業務で使用するパソコン等の機器設定およびホームページ構築を担当。

リポートする人

Reporter

江口美月



川口彩織



田口絢葉

専門スキルを磨いて女性も活躍中のIT業界!
先輩の背中を目指し奮闘するエンジニアを取材

3 風通しが良く、働きやすい環境

女性社員も徐々に増えています。時短勤務では、上司と相談してそれぞれの状況に応じて柔軟な対応がなされるそうです。課内でも業務時間や内容について協力するなど、会社全体で子育て中の女性の働き方に理解があります。また、社内交流のイベントも盛んです。忘年会のビンゴ大会では、なんとプレゼントが全員分出るそうです。吉岡さんにとって普段の仕事のモチベーションにも繋がっているそうです。社長さんがとてもフレンドリーで、社員との距離が近い印象もありました。



インタビュー動画はこちら

1 趣味を生かして島根で働く!

吉岡さんは高知県出身。大学から島根に住み始めました。一度は都会での就職も考えましたが、満員電車に乗車した経験を辛く感じたことから、元々気に入っていた島根での就職を意識し、就職活動を始めました。吉岡さんは以前からデザインに興味があり、趣味でHP作成や画像編集などをしていました。そんな彼女がこの会社に入社を決めたのは「自分の経験を活かせる」と感じたから。入社後は、実際に業務でロゴやチラシ作成、HP構築などを担当しています。



2 充実した研修で文系からSEに

文系出身の吉岡さん。パソコン本体の接続や設置を伴う作業は全く分からなかったそうです。そのような状態からでもSEとして活躍できるようになったのは、研修制度がしっかりしているから。入社後は、県内の専門学校で新社会人向けの教育コースを受講し社会人としての基礎知識やITスキルなどを学ばせてもらったそうです。また、先輩社員についてもらいながら業務を行うOJTもあります。

学生の感想

リポーター 川口彩織さん



今回最も印象に残ったのは、吉岡さんの経歴です。私自身も、地元に戻って就職するか、都会に出るか、このまま島根県で就職するか悩んでいました。そのため、実際に地元ではない島根での就職を決めた吉岡さんの話を聞くことができ、とても参考になりました。私も吉岡さんのように、好きな土地で仕事を楽しみながら活躍できるような社会人になりたいと思いました。



アピールポイント



ティーエスケイ情報システム株式会社

〒690-0826 島根県松江市学園南2-10-14
TEL 0852-27-6061
<https://www.tskis.jp/>

当社の魅力は、フレンドリーな社長と風通しの良い雰囲気です。若い社員が多く、お互い切磋琢磨しながら毎日業務に取り組んでいることもあり、ワンフロア内の事務所では、様々な会話が飛び交っています。社長と社員が談笑していたり、熱い議論を交わっていたり、わきあいあいとプロジェクトの目標達成に向けて、ワンチームで取り組んでいます。

Interviewee 12

インタビューを受ける人



イマックス株式会社
須田 奈津季さん

イマックス株式会社
栢根 佳乃子さん

Reporter

リポートする人



三木 芽衣

渡部 めぐみ

村崎 憲実

女性も専門職で活躍！ 都市生活を保守・
工事で支える地域企業の社員取材

3 仕事と子育ての両立

昨年出産を経験し、現在は時短勤務で働いている栢根さん。イマックスで働く社員の平均年齢は39歳、出産や育児を経験した人が多くいることもあり、子育てへの理解がある環境です。また先輩や同僚から仕事に関して「焦らなくていいよ!」と声をかけられ、とても気遣ってくれるそうです。また、家庭では夫婦で家事を分担しあって無理なく仕事と子育ての両立ができています。



インタビュー
動画はこちら

1 好き・得意を仕事に

建物を見るのが好きでしたが、大学で専攻していたのは建築とは関わりがない学部だった須田さん。しかし就職活動中にイマックスに出会い、CADを使って働く女性社員がいることを知りました。当時からパソコンが得意だったこともあり、興味を持ったそうです。男性が外で作業をするイメージがある建設業ですが、CADを活用して給排水の図面作成を行う「工務事務」など、女性が活躍できる業務も豊富です。

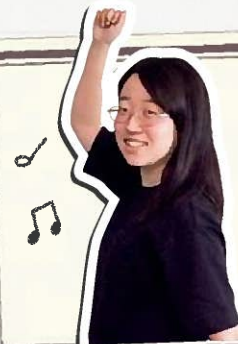


2 社員を繋ぐ3つの委員会

イマックスには「コミュニケーション委員会」、「広報PR委員会」、「研修教育委員会」の3つの委員会があります。須田さんが関わっている「広報PR委員会」は社内報の発行を行われています。この委員会は社員から意見を出しやすい環境を作る目的で行われている社内活動の1つです。勤務時間中のコミュニケーションが活発であり、休憩時間にも和気あいあいとした雰囲気を感じられます。

学生の感想

リポーター 渡部 めぐみさん



私も以前から建築業に興味はあったものの、文系の学部に進んだことで建築業には就けないと思っていました。しかし、須田さんと栢根さんのお話を聞いたり、今まで関わることもなかったCADや「工務事務」などに触れたりすることで、「女性や文系出身の人でも建築業界に関わることができるんだ!」と新たな発見ができました。



アピールポイント



イマックス株式会社

〒693-0066 島根県出雲市高岡町166-1
TEL.0853-21-0009
<https://www.imacs.gr.jp>

イマックスは建設業でありながら社員数の1/3の割合を女性が占めている会社です。ライフイベントに合わせて働き方を相談できる窓口や、有給休暇取得促進制度、福利厚生など時代と社員のニーズに合わせて見直しを積極的に行っているため、安心して長く働ける会社です。また、研修制度にも力を入れているので未経験からスタートした方も多く活躍しています!

Interviewee 13

インタビューを受ける人



株式会社キグチテクニクス

増田 ミユさん

金属組織の観察、顕微鏡やSEM(電子顕微鏡)などを使用し、金属材料の断面や破面を観察し、材料評価を行っている。

Reporter

リポートする人

渡部めぐみ



村崎恵実



三木芽衣



世界のものづくりの緑の下の力持ち！
材料調査に携わる技術者を取材

3 「知っていく楽しさ」

増田さんは、金属のミクロ・マクロ観察を主に行っています。その中で、「金属が折れた原因はこの異物か!」「生活の中でこんなものが使われていたのか」など今まで知らなかったことを発見できる、「知っていく楽しさ」があると教えてくれました。また、この仕事のやりがいは、お客様に「参考になりました」と感謝されることで、「さらに丁寧に仕事をしよう」と思え、日々勉強と成長ができるそうです。



インタビュー動画はこちら

1 「材料調査」に惹かれて新しいステージへ!

当初は島根で働くことを考えていなかったという増田さん。「家族や友人など相談できる人が近くにいるのがいいな」と思い島根で就職活動をした際、出会ったのがキグチテクニクス。なじみのない材料調査に興味を持ち、会社見学に行ったことが入社のかっけだそうです。大学では化学専攻。専攻した分野と今の業務の直接的な関わりはないそうですが、大学での実験レポートが資料作りに生きていて、今では200ページの報告書をまとめるまでになりました。



2 働きやすい環境作り

キグチテクニクスは「世界中のものづくりの安全・安心を支える」材料の評価を行う試験所です。実際に試験等で評価したものが自動車や航空機の材料として使われるため、増田さんはいつも緊張感を持つことを心がけているそうです。そのため、一人で考えることも大切ですが、チーム全員で助け合うという雰囲気も持っており、複数の調査を行うときもスムーズに働ける環境になっています。入社したときの研修で一から丁寧に教えてもらえるので文系の方も活躍できるそうです。



学生の感想

リポーター 村崎恵実さん

職場の方たちの和やかな雰囲気や真剣な試験調査の様子などは、実際に取材しないとわからないことだったので、今回のインタビューは貴重な経験になりました。私は島根県で育ち、「島根は田舎だから都会で就職」と思っていたのですが、今回の取材で地元で働く良さや温かさを知ることができました。

アピールポイント

国内最大級の試験機関として試験業務を通じ、世界のものづくりを支えている企業です。世界標準の品質を提供できる企業へと成長するには社員一人ひとりの成長が必要です。社員の成長を助けるためにも、働きやすい職場作りを目指しています。



株式会社キグチテクニクス

〒692-0057 島根県安来市恵乃島町114-15
TEL 0854-22-2619
<https://kiguchitech.co.jp/>

Interviewee 14

インタビューを受ける人



東京海上日動火災保険株式会社
山陰支店

三代 明香里さん

自動車事故時の責任割合を含めた示談交渉。自然災害時のエリアを越えた広域災害の業務応援。代理店勉強会の実施などを担当。

リポートする人
Reporter

三木 芽衣



渡部 めぐみ



社務 恵美



誰かの「困った!」を損害保険で安心の
笑顔に変える事故対応部門の社員を取材

3 お客様の不安に寄り添い、安心感を

三代さんの業務の一つは、自動車事故等に遭ったお客様からの電話対応。気が動転したお客様に寄り添うことを最も大切にしています。事故の解決を行う中で、お客様の不安を取り除き、安心感を抱いてもらえるよう意識して業務を行っています。また、この業務では多くの女性が活躍しています。お客様に「この人で良かった」と感じてもらえるような温かみのある対応を心掛けて業務に携わっています。



インタビュー
動画はこちら

「助け合い」で働きやすい職場環境!

困ったときにはお互い助け合うという意識が強い東京海上日動火災保険。ライフイベントが多いといわれる女性も長く働ける制度が充実しています。休暇を必要としている時にはためらわず取得し、社員の業務を補い合う環境が整っているそうです。三代さんの「順番に休暇を取りやすい雰囲気がつくられている」という言葉が印象的でした。制度が存在しているだけでなく、活用することが当たり前だという認識が広がっています。



2 地元へ貢献できる喜び

島根県の大学に進学しましたが、県外で就職しようと考えていた三代さん。しかし、就職活動が進み、地元企業の方々と接する機会が増える中で、地元の温かさを実感。地元へ貢献したいという思いが強くなり、自分の住む地域の活動を保険で後押しできる同社で働きたいと決意。家族や友人と共に暮らしたいと思ったことも決め手となりました。島根で暮らす人とコミュニケーションをとることが多い三代さんの業務。「ありがとう」と感謝の言葉を言われた時にやりがいを感じるそうです。



* 学生の感想

リポーター 渡部 めぐみさん



三代さんは以前、営業部門で個人のお客様への保険提案や、企業へ健康経営を絡めた提案等をされていました。「事故の解決によって元の生活を取り戻し、安心感を抱いてもらいたい」と三代さんが話していたことが印象に残っています。今回取材したことで、地元の住民と関わることが多く、地元へ貢献できていると実感しやすい業務であると感じまし



アピールポイント

140年を超える当社の歴史は、地域の皆様とともに歩みを進めてきた歴史です。私達は国内外にあるネットワークを活かし、地方創生の取組への貢献を目指しています。また、1人ひとりが「地域社会に貢献したい・長く働き、成長し続けたい」など、自分らしいキャリアを実現しています。



東京海上日動火災保険株式会社 山陰支店

〒690-0007 島根県松江市御手船場町565-8

TEL.0852-25-1770

<https://www.tokimarine-nichido.co.jp/>

Interviewee 15

インタビューを受ける人



フジキコーポレーション株式会社

清水 萌愛さん

インターンシップや合同説明会参加など新卒採用関連業務全般。またフジキオリジナル山陰グルメカタログギフト作成をおこなっている。

リポートする人

Reporter

村崎 恵実



三木 芽衣



液部 めぐみ



ふるさとの魅力を探して、見つけて、贈る
ギフトの専門店のスタッフを取材

3 学生に求めることは……?

そう質問すると、「挨拶や感謝を言葉にするなど、当たり前を当たり前にするという簡単なこと」と清水さん。これを意識するだけでも印象がかなり変わるそうです。コロナ禍での就職活動は学生同様企業も悩んでいるのが現状。入社後のギャップを少なくするためにも、様々な企業に自ら電話をして話を聞いてみるのが大切だそうです。勇気が必要ですが、清水さん自身も「働き始めてから多種多様な企業の担当者からの声を聞き、業務で活用できるためになる知識を得られました」と教えてくれました。



インタビュー動画はこちら

1 改めて気づいた島根の魅力!

「大好きな島根を一度客観的に見てみたい」という思いから、関西の大学へ進学した清水さん。目新しいものが多い関西は魅力的な一方で、島根と違い近所の人などは挨拶程度の会話で関係が終わることを寂しく思い、清水さんは改めて島根の人の温かさを実感したそうです。そして「島根を支えたい、応援したい!」という気持ちで就職活動をしていた時、インターンシップに参加した同社で当時新入社員だった先輩女性社員に憧れて、「自分もこんな素敵な社会人になりたい」と思い入社を決意しました。



2 清水さんの思いが詰まった山陰グルメカタログ

清水さんは、山陰の美味しいものを紹介するフジキオリジナルのカタログギフト制作を担当しています。これは「山陰グルメカタログ」と呼ばれ、商品の選定時は、取扱いメーカーはもちろん、時には生産者にも直接アポイントを取って交渉するそうです。その中で、メーカーや生産者から励ましや新しい商品情報をもらうなど、お互いの繋がりが強くなることにやりがいや楽しさを感じています。お互いの熱い想いから、県西部の商品メーカーが東部で初の商品販売ができたという、素敵なエピソードも聞くことができました。

学生の感想

リポーター 三木 芽衣さん

清水さんからは、入社してから辛かった経験談もお聞きすることができました。こうした時は、同期や上司の方のアドバイスや声掛けに助けられたと言います。また、地元のメーカーさんと直接関わることができるという点で、島根に貢献していることを実感しやすいところも魅力的でした。「島根を支えたい・応援したい」という清水さんを、私も応援したいと思います!

アピールポイント



フジキコーポレーション株式会社

〒699-0193 島根県松江市栗出雲町意宇南2-1-1
TEL 0852-61-1241
<https://mondawa.jp/>

フジキの魅力は若手～ベテランまで全社員が個性を生かして活躍できること。ギフトを必要としている世代は様々で、スタッフもあらゆる世代の力が必要となります。私も入社2年目からメーカー様と商談したり採用活動を担ったりと、様々なことに挑戦してきました。若手のうちから色々挑戦できるのがフジキの魅力です。

☆ 企業情報 ☆

01 株式会社アルpron島根工場 (p.4)
 〒699-1104
 島根県雲南市加茂町南加茂1204-1
 TEL.0854-49-8286

05 シマネ益田電子株式会社 (p.12)
 〒698-2144
 島根県益田市虫追町口320-97
 TEL.0856-28-8100

02 社会医療法人仁寿会 (p.6)
 〒696-0001
 島根県邑智郡川本町大字川本383-1
 TEL.0855-72-0640(代表)
※今回の取材は、大田市の「訪問看護ステーションながひき」にて行っています。

06 社会福祉法人桑友 (p.14)
 〒690-0064
 島根県松江市天神町93
 TEL.0852-60-1858
※今回の取材は、松江市朝日町の「オフィスまるべりー」にて行っています。

03 株式会社中筋組 (p.8)
 〒693-0061
 島根県出雲市姫原町262
 TEL.0853-22-8111(代表)

04 有限会社松の湯
 出雲・玉造温泉松乃湯 (p.10)
 〒699-0201
 島根県松江市玉湯町玉造1215
 TEL.0852-62-0611

07 株式会社豊洋 (p.16)
 〒690-0823
 島根県松江市西川津町2108-3
 TEL.0852-28-1111

08 株式会社ペンタネット (p.18)
 〒690-0816
 島根県松江市北陵町43
 TEL.0852-20-7200

09 株式会社協栄ファスナー工業 (p.20)
 〒690-2701
 島根県雲南市掛合町掛合2414
 TEL.0854-62-9700

10 JR西日本山陰開発株式会社 (p.22)
 〒690-0003
 島根県松江市朝日町字伊勢宮472-2
 TEL.0852-26-6511(代表)

11 ティーエスケイ
 情報システム株式会社 (p.24)
 〒690-0826
 島根県松江市学園南2-10-14
 TEL.0852-27-6061

12 イマックス株式会社 (p.26)
 〒693-0066
 島根県出雲市高岡町166-1
 TEL.0853-21-0009

13 株式会社ググチテクニクス (p.28)
 〒692-0057
 島根県安来市恵乃島町114-15
 TEL.0854-22-2619

14 東京海上日動火災保険株式会社
 山陰支店 (p.30)
 〒690-0007
 島根県松江市御手船場町565-8
 TEL.0852-25-1770

15 フジコーポレーション株式会社 (p.32)
 〒699-0193
 島根県松江市東出雲町意宇南2-1-1
 TEL.0852-61-1241

